

2026-07-17

1. Claude Code の /code-review に「エフォートレベル」
2. Gemma 4 大幅強化
3. AIエージェントに永続的な身元を



Claude Code の /code-review に「エフォートレベル」

low～ultra でレビュー戦略そのものが変わる

Claude Code の /code-review がエフォートレベルに対応した。

■ 出典: @ClaudeDevs (Anthropic 公式) (2026-07-16)

■ **low**: 差分を1パス。プッシュのたびに回せる速度とコスト。わずかなトークンコストで他のコードレビューツールを…

■ **medium**: 変更コードを文脈込みで読み、複数の finder パスを異なる角度から走らせ、全指摘を検証してから提示



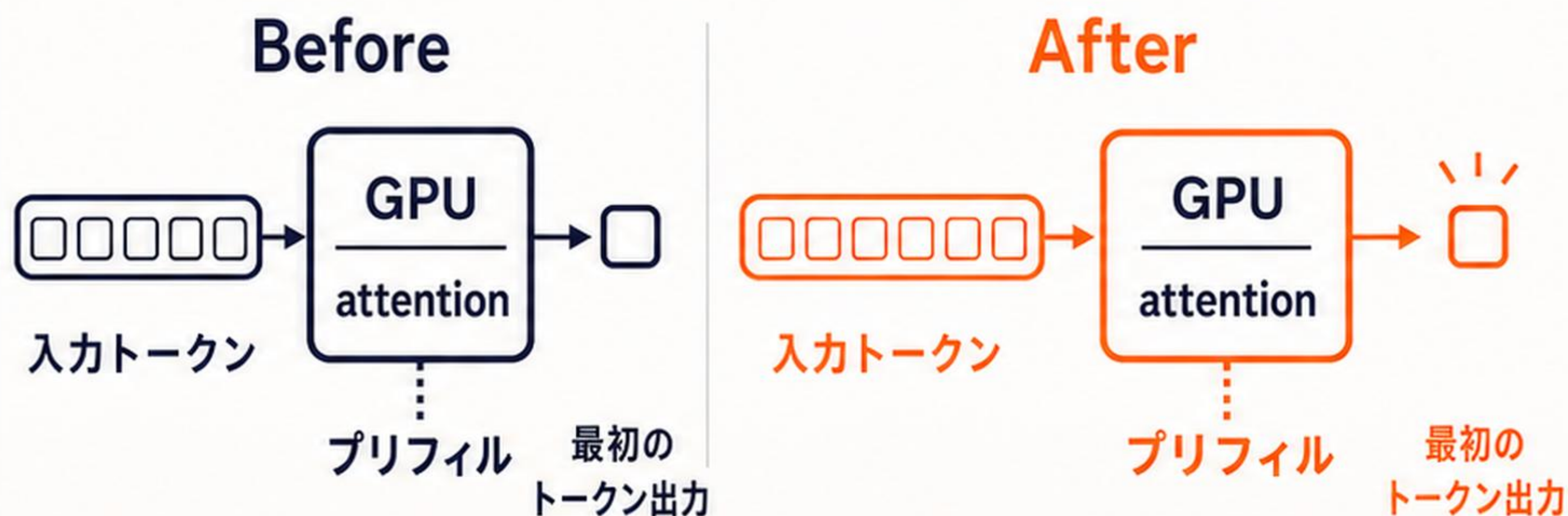
エフォート = トークンコストのトレードオフを利用者が明示的に選ぶ設計になり、「毎プッシュは low、PR は high」という運用が組める。

Gemma 4 大幅強化

プリフィル最大70%高速化、ツール呼び出しの精度と一貫性を改善

Google がオープンウェイトの Gemma 4 を大幅に更新し、Hugging Face で公開した。

- 出典: @pc_watch / PC Watch (2026-07-15)
- プリフィルのスループット +25~70%、最初のトークン出力までの時間 (TTFT) が最大 -31%
- 高速化の技術的な中身は NVIDIA Hopper GPU 上での uniform Flash Attention 4 (FA4) 有効化



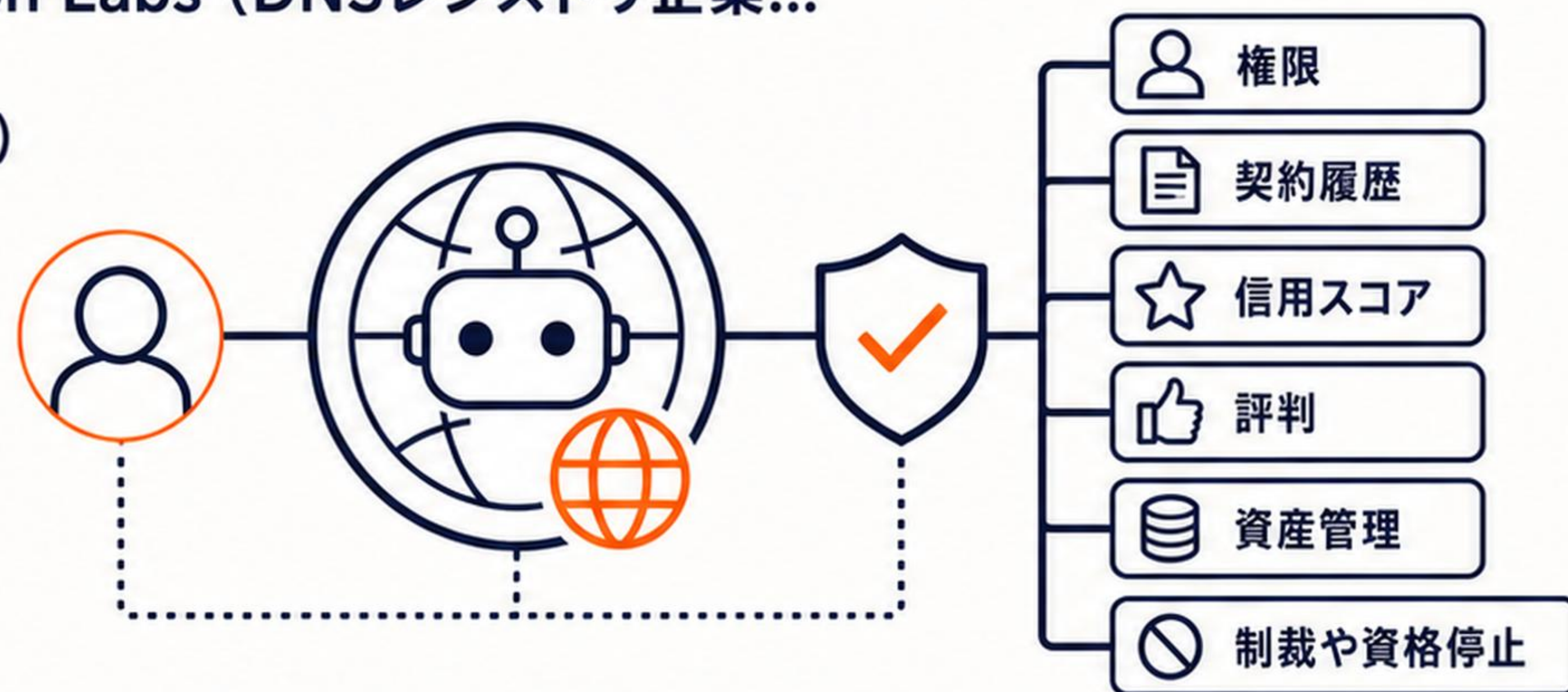
ローカルでエージェントを回す観点では、速度より「ツール呼び出しの安定性」が本命。

AI エージェントに永続的な身元を

Vint Cerf が参画する DNSid 構想

TCP/IP の設計者でインターネットの父と呼ばれる Vint Cerf が、20年在籍した Google を離れ、AI エージェントの識別標準を作る Innovation Labs (DNSレジストリ企業...

- 出典: @k_matsumaru / 松丸 慧吾 (2026-07-15)
- DNSid で識別できるもの: どの組織・人間が所有/運用しているか、本物のエージェントか、現在も有効か (停止...
- エージェントの身元の上に、権限・契約履歴・信用スコア・評判・資産管理・制裁や資格停止まで積める構想



エージェントに決済・契約・API アクセスを持たせようとするとき必ず「このエージェントは誰の代理で、まだ有効か」の検証が要る。

MF会計の MCP が「明細からの仕訳登録」に対応

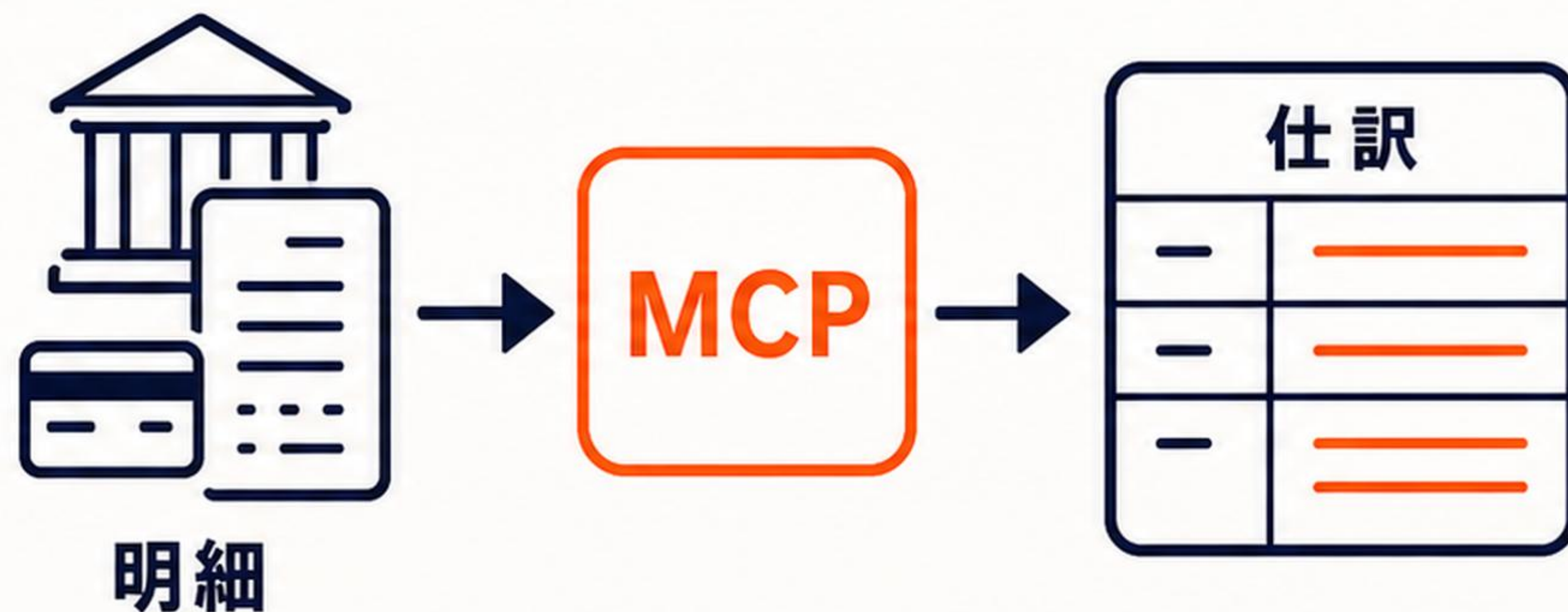
スタッフ0人・顧問先60社の実運用レポート

マネーフォワード会計の MCP が「金融機関明細からの仕訳登録」に対応し、連携した銀行・カードの未仕訳明細を取得してそのまま仕訳を作れるようになった。

■ 出典: @kandmybike / 畠山謙人 (AI税理士) (2026-07-15)

■ freee は「幅」— 明細取得から証憑ファイルボックス、請求書まで一気通貫。約270本の API をツール化した公式...

■ MF は「芯」— 仕訳まわりに絞りつつ本丸を先取り。全プラン追加料金なしのリモート MCP で入口も軽い



MCP がデモではなく事務所の売上を支える本番インフラとして回っている、数少ない具体的な実運用レポート。

「薄いプロンプト・厚いアーティファクト・薄いスキル」

コンテキストエンジニアリングが主戦場に

Anthropic の Thariq が理想のプロンプト技法を3行で定義した。

- 出典: @trq212 / Thariq (Anthropic) (2026-07-15)
- thin prompts: 指示そのものは短く保つ。プロンプトに背景・制約・例を延々と詰め込む方向に最適化しない
- thick artifacts + context: 厚くするのはアーティファクト (設計文書・コード・仕様・既存の成果物…)



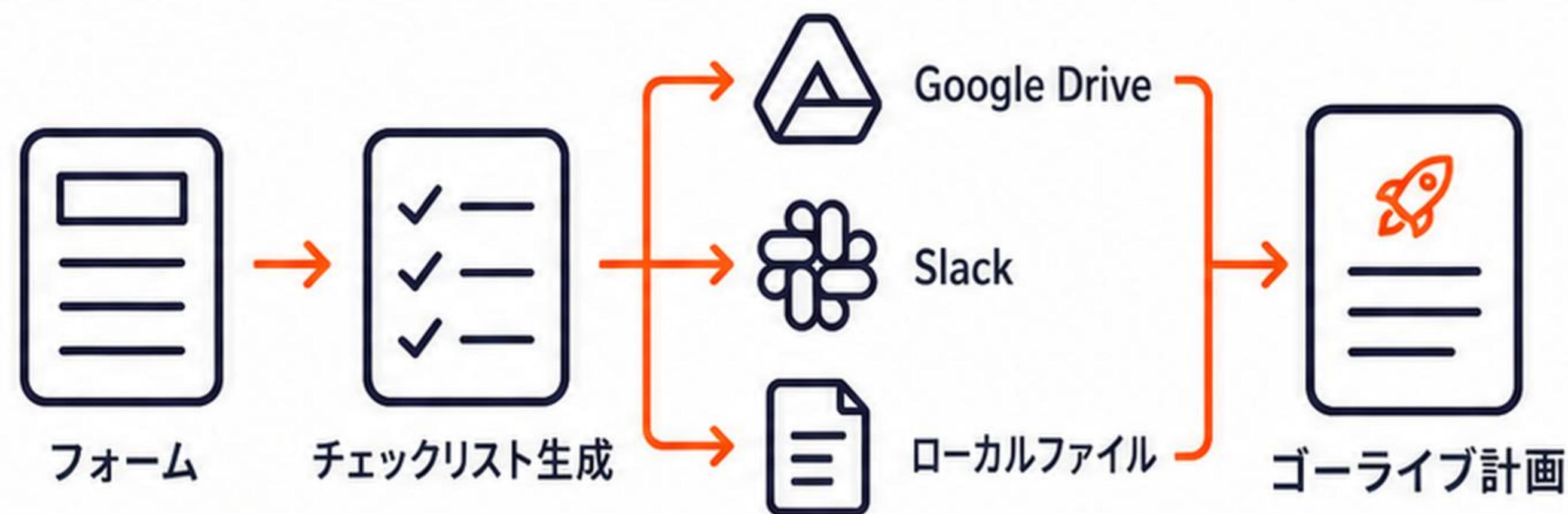
「良いプロンプトを書く」から「良い材料を置く」への重心移動を1行に凝縮した指針。

Codex in Chrome

依頼フォームを「ゴーライブ計画」に落とすまでをブラウザで回す

OpenAI Developers が Codex in Chrome の実務ワークフローを提示した。

- 出典: @OpenAIDevs (OpenAI 公式) (2026-07-15)
- フローの骨子: フォームからチェックリスト生成 → Google Drive / Slack / ローカルファイルから文脈収集 → ...
- 文脈の引き込み先が単一ツールではなく Drive・Slack・ローカルファイルに跨る点が要



依頼を実行可能な段取りに落とす作業そのものを任せられることを示す具体例。

/improve-animations skill

「動くけど何か違う」を専門に監査し、レビューと実装でモデルを分ける

アニメーション改善に特化した Claude Code スキル
/improve-animations が話題を集めている。

■ 出典: @claudecode84 / Claude code研究ラボ (2026-07-16)

■ 検出: CSS / Framer Motion / Motion / GSAP を
プロジェクト横断で洗い出し、改善候補を一覧化

■ 監査観点: 動きが不自然でないか / イージングは適切か /
Duration が長すぎないか /...



「動くけど何か違う」という言語化しづらく後回しにされがちな品質を、AI に定量的な観点で監査させる型。

本日のトピック一覧

1. Claude Code の /code-review に「エフォートレベル」
2. Gemma 4 大幅強化
3. AI エージェントに永続的な身元を
4. MF 会計の MCP が「明細からの仕訳登録」に対応
5. 「薄いプロンプト・厚いアーティファクト・薄いスキル」
6. Codex in Chrome
7. /improve-animations skill